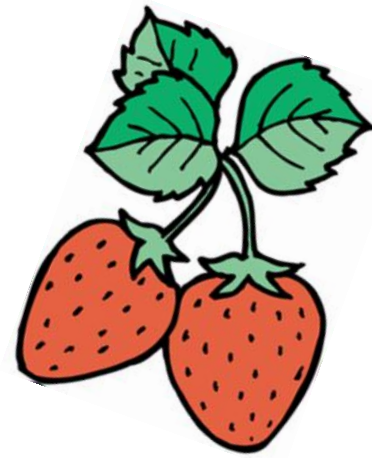




生鮮イチゴの輸入



- ・成田空港のシェアは第1位で、輸入数量・金額ともに全国の約6割を占める。(2013年)
- ・例年、9月から10月に輸入のピークを迎える。

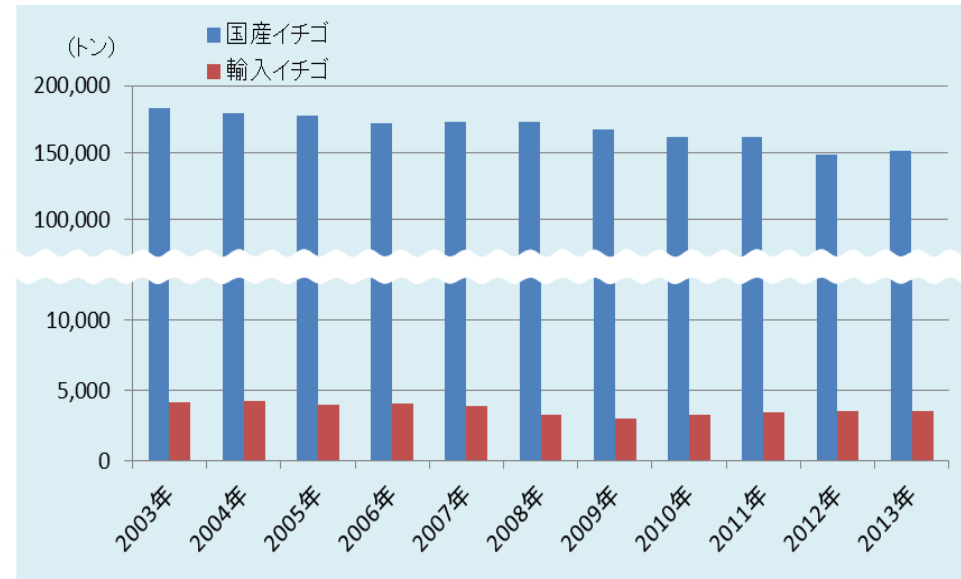
はじめに

甘酸っぱいフルーツ、イチゴ。そのまま食べたり、ケーキ等のスイーツに用いるなど、イチゴは最もポピュラーなフルーツのひとつと言え、主に冬場から初夏にかけて、スーパー等で様々な品種のイチゴを目にすることが出来ます。

農林水産省の統計によれば、国産イチゴは、過去10年において、年間約15～18万トン規模の出荷量があり、2013年は151,800トンが出荷されました。国産イチゴが大きな規模で流通している一方で、海外から輸入されたイチゴも流通しており、2013年は、全国で数量3,517トン、金額33.8億円、成田空港で数量2,269トン、金額21.5億円の生鮮イチゴが輸入されています。

今回は、例年、9月から10月に輸入のピークを迎え、2013年における成田空港のシェアが輸入数量・金額ともに全国の約6割を占める、生鮮イチゴにスポットを当ててみました。

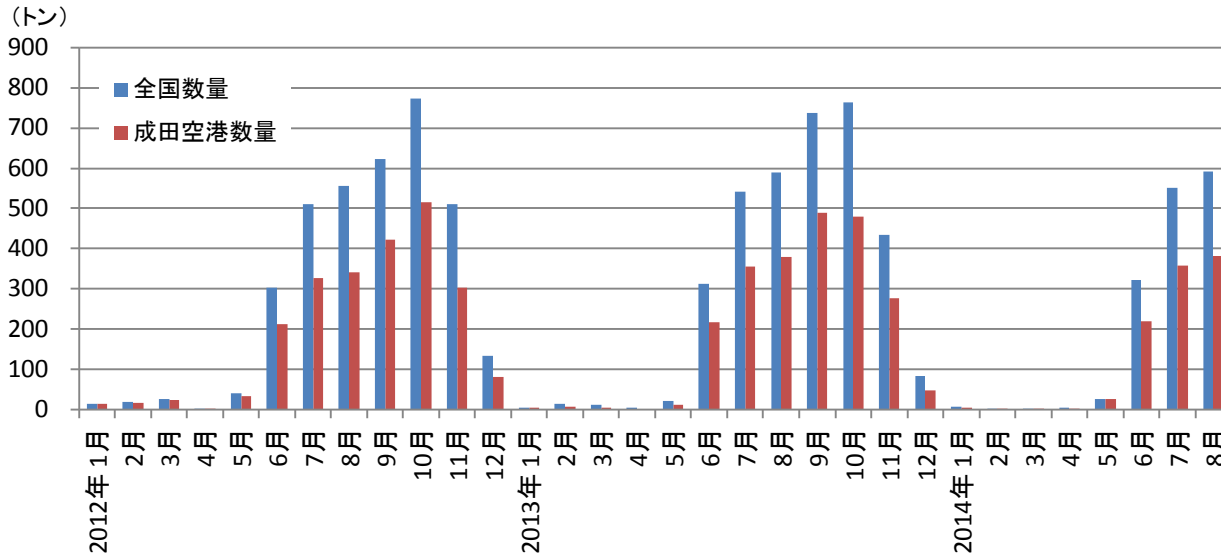
国産イチゴと輸入イチゴ（生鮮）の流通量の推移（全国）



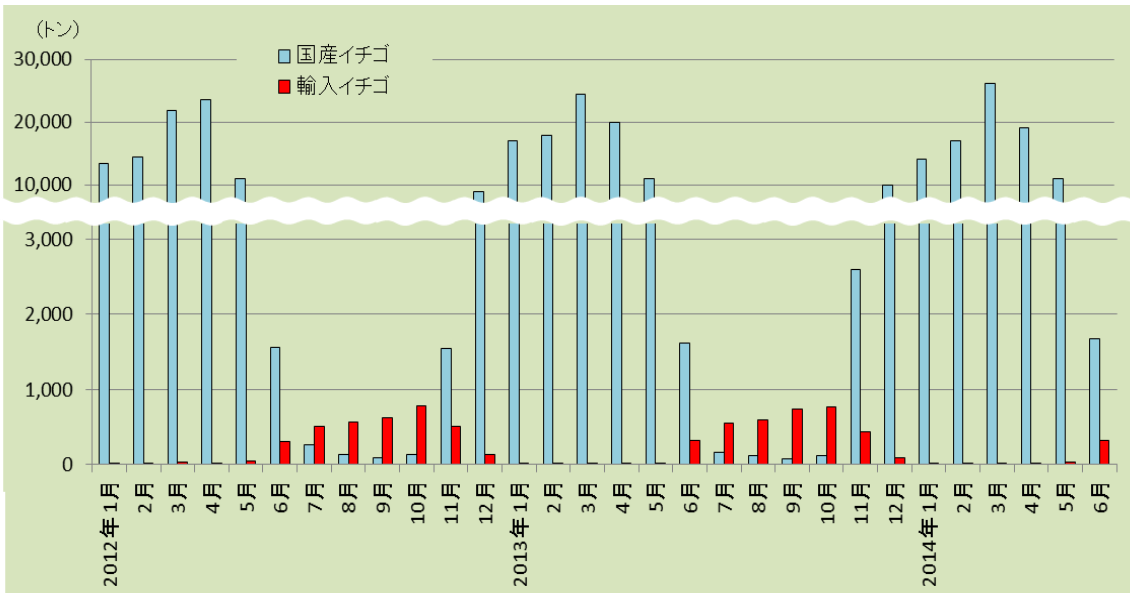
国産イチゴ: 出典 農林水産省 野菜生産出荷統計 イチゴの出荷量

・本特集の「生鮮イチゴ」は、輸入統計品目番号0810.10-000ストロベリー(生鮮のもの)についてまとめたものです。
 ・本特集で用いている数値は財務省貿易統計によります。なお、2014年8月分は速報値です。

1. 月別 輸入数量の推移



【参考】国産イチゴと輸入イチゴ（生鮮）の月別流通量の比較（全国）



国産イチゴ: 出典 農林水産省 青果物流通統計 主要卸売市場におけるイチゴ(国産果実)の卸売数量

国産イチゴの端境期に輸入が集中

近年における全国の月別輸入数量の推移を見ますと、6月から11月にかけて輸入が集中していることが分かります。また、成田空港における月別輸入数量の推移についても、全国と同様の傾向となっています。

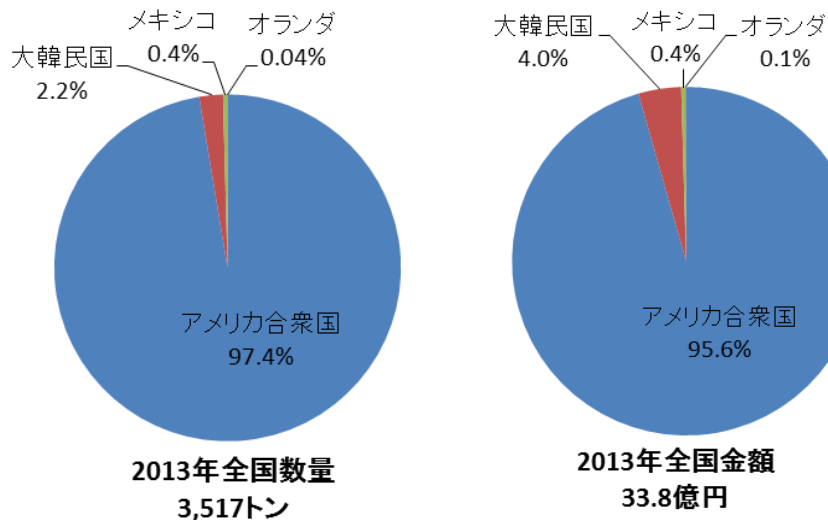
一方、農林水産省の統計によると、国産イチゴは、3月頃をピークに、主に11月頃から6月にかけて流通しています。夏場は、北海道や東北で生産されるイチゴが流通するようですが、基本的に夏から秋にかけては、国産イチゴの端境期となります。

業界によれば、生鮮イチゴは、ケーキ等のスイーツに使用するなど、年間を通して需要があるため、国産イチゴの端境期に集中して、海外から生鮮イチゴが輸入されるとのことです。

また、暑さが去った9月から10月は、アイスクリーム等に代わってケーキ類の売れ行きが良くなり、生鮮イチゴの需要も膨らみ、例年、輸入が増加するとのことです。

2. 国別 数量・金額シェア（2013年）

全国



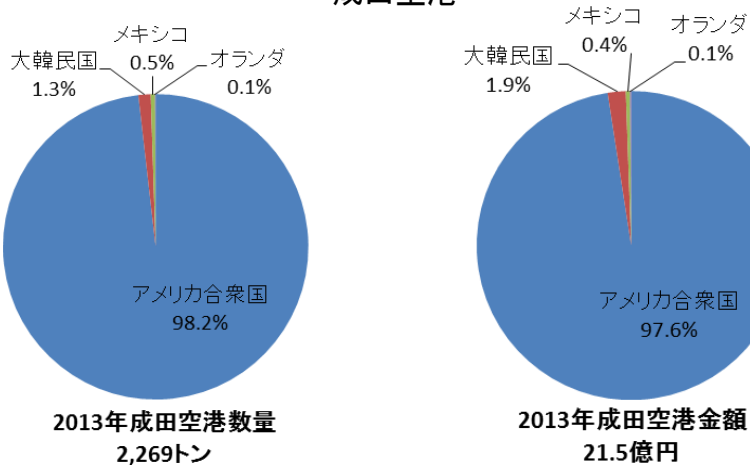
アメリカ合衆国が大きなシェア

全国における2013年の国別内訳を見ますと、アメリカ合衆国からの輸入が、数量シェア97.4%、金額シェア95.6%と圧倒的シェアを誇っての1位となっています。2位は大韓民国で、数量シェア2.2%、金額シェア4.0%となっています。

成田空港においても、国別シェアの内訳は同様で、アメリカ合衆国からの輸入が、数量シェア98.2%、金額シェア97.6%で1位、大韓民国からの輸入が、数量シェア1.3%、金額シェア1.9%で2位となっています。

アメリカ合衆国は、世界最大のイチゴ生産国で、主にカリフォルニア州等で生産されているようです。

成田空港

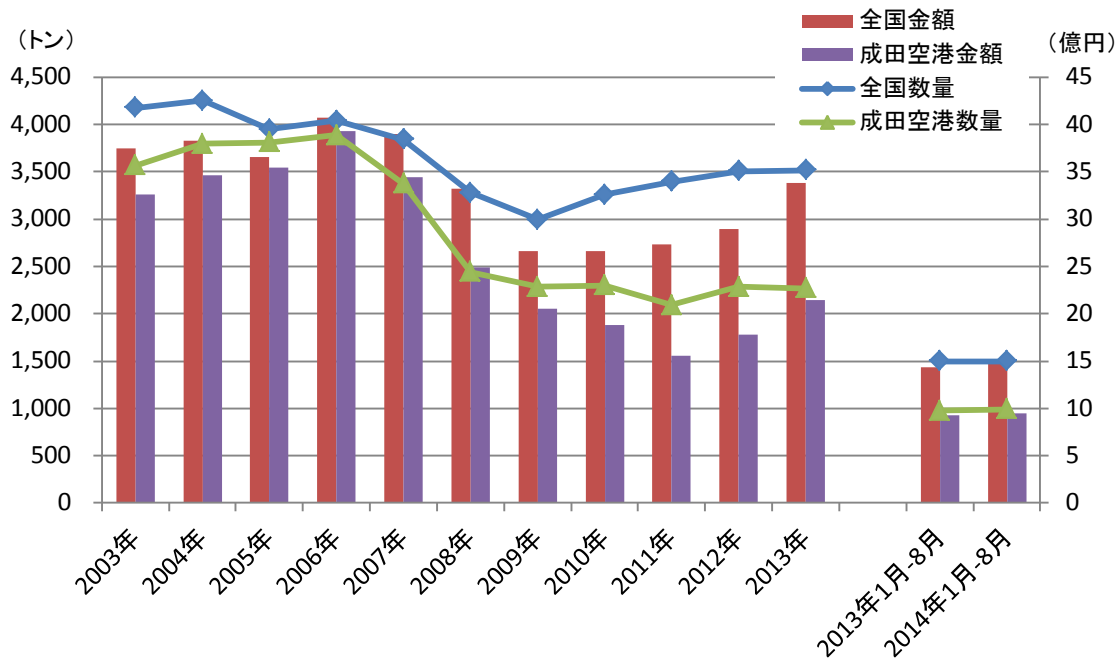


(参考)イチゴ生産量上位5カ国(2012年)

国	生産量(トン)
アメリカ合衆国	1,366,850
メキシコ	360,426
トルコ	353,173
スペイン	289,900
エジプト	242,297

出典: FAOSTAT

3. 輸入動向

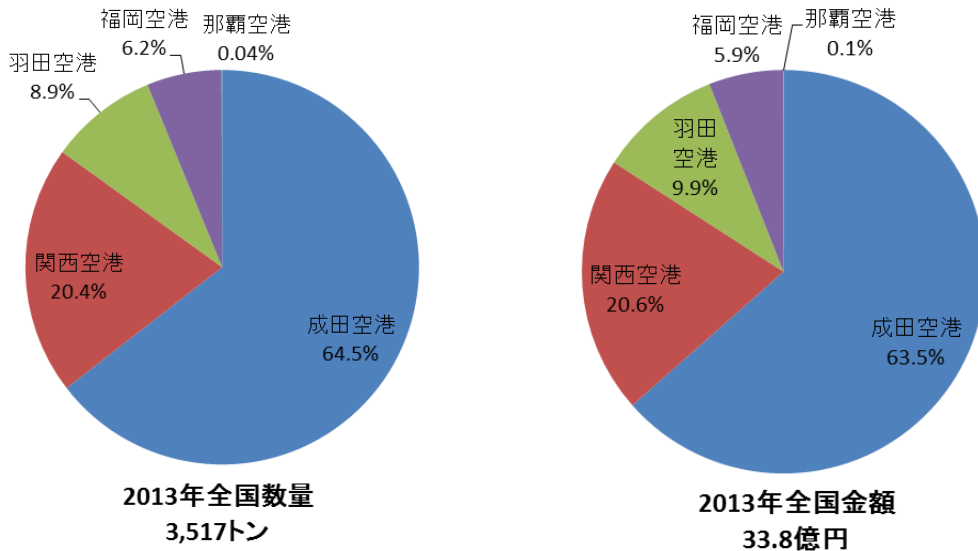


2013年の全国における生鮮イチゴの輸入実績は、数量3,517トン、金額33.8億円でした。また、成田空港では、数量2,269トン、金額21.5億円でした。

2003年からの輸入数量の推移を見ますと、全国においては、2004年をピークに2009年まで減少傾向でしたが、2010年から4年連続で増加しています。一方、成田空港では、2006年をピークに2009年にかけて減少した後、概ね横ばいで推移しています。

なお、本年1月-8月は、全国で数量1,501トン、金額14.7億円、成田空港で数量992トン、金額9.5億円となっており、前年同期と同程度の輸入があります。

4. 港別シェア (2013年)



成田空港が大きなシェア

2013年における港別のシェアを見ますと、成田空港が数量シェア64.5%、金額シェア63.5%を占め、1位となっています。また、羽田空港でも輸入があり、数量シェア8.9%、金額シェア9.9%で3位となっています。これら首都圏に位置する両空港を合わせると、数量シェア・金額シェアともに73.4%と大きなシェアを占めます。

生鮮いちごについては、新鮮なうちに輸入する必要があるため、専ら航空便で輸送されている状況となっています。

(参考)

国産イチゴと輸入イチゴ(生鮮)の流通量の推移(全国)

(単位:トン)

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
国産イチゴ	183,200	179,500	177,600	172,700	173,400	173,000	168,100	161,800	161,600	149,000	151,800
輸入イチゴ	4,177	4,251	3,947	4,038	3,842	3,278	2,992	3,259	3,395	3,509	3,517

※国産イチゴ 出典:農林水産省 野菜生産出荷統計 イチゴの出荷量(2013年は第一報)

1. 月別 輸入数量の推移

(単位:トン)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
全国数量	2012年	14	19	25	2	41	302	511	556	622	772	510	134
	2013年	4	14	12	4	21	313	543	590	738	763	434	82
	2014年	6	2	1	3	26	322	551	591				
成田空港数量	2012年	13	17	24	2	33	211	326	340	423	515	304	80
	2013年	4	7	4	-	11	217	355	380	488	480	275	47
	2014年	5	2	0	2	25	218	358	382				

【参考】国産イチゴと輸入イチゴ(生鮮)の月別流通量の比較(全国)

(単位:トン)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
国産イチゴ	2012年	13,401	14,380	21,922	23,504	10,926	1,562	258	135	94	135	1,547	8,872
	2013年	17,059	17,919	24,350	20,016	10,998	1,623	165	114	71	113	2,593	9,875
	2014年	14,048	17,047	26,147	19,122	10,931	1,673						
輸入イチゴ	2012年	14	19	25	2	41	302	511	556	622	772	510	134
	2013年	4	14	12	4	21	313	543	590	738	763	434	82
	2014年	6	2	1	3	26	322						

※国産イチゴ:出典 農林水産省 青果物流通統計 主要卸売市場におけるイチゴ(国産果実)の卸売数量(第一報)

2. 国別 数量・金額シェア(2013年)

国	全国数量(キロ)	全国金額(千円)
アメリカ合衆国	3,424,512	3,232,156
大韓民国	77,799	134,762
メキシコ	13,257	12,488
オランダ	1,511	2,692
総計	3,517,079	3,382,098

国	成田空港数量(キロ)	成田空港金額(千円)
アメリカ合衆国	2,227,721	2,094,526
大韓民国	29,394	40,550
メキシコ	10,233	9,241
オランダ	1,511	2,692
総計	2,268,859	2,147,009

3. 輸入動向

	全国				成田空港			
	数量(トン)	(前年比)	金額(億円)	(前年比)	数量(トン)	(前年比)	金額(億円)	(前年比)
2003年	4,177	-	37.5	-	3,565	-	32.6	-
2004年	4,251	101.8%	38.3	102.1%	3,794	106.4%	34.6	106.1%
2005年	3,947	92.9%	36.6	95.5%	3,813	100.5%	35.4	102.3%
2006年	4,038	102.3%	40.7	111.3%	3,889	102.0%	39.3	110.9%
2007年	3,842	95.1%	39.0	95.8%	3,375	86.8%	34.5	87.7%
2008年	3,278	85.3%	33.2	85.2%	2,441	72.3%	24.9	72.2%
2009年	2,992	91.3%	26.6	80.1%	2,283	93.5%	20.5	82.5%
2010年	3,259	108.9%	26.7	100.2%	2,298	100.7%	18.8	91.4%
2011年	3,395	104.2%	27.3	102.4%	2,092	91.0%	15.6	83.1%
2012年	3,509	103.3%	28.9	105.9%	2,287	109.3%	17.8	114.3%
2013年	3,517	100.2%	33.8	117.0%	2,269	99.2%	21.5	120.5%

2013年1月-8月	1,500	-	14.3	-	978	-	9.2	-
2014年1月-8月	1,501	100.0%	14.7	102.7%	992	101.4%	9.5	102.6%

4. 港別シェア(2013年)

港	数量(キロ)	金額(千円)
成田空港	2,268,859	2,147,009
関西空港	718,177	697,770
羽田空港	312,107	334,610
福岡空港	216,399	200,977
那覇空港	1,537	1,732
総計	3,517,079	3,382,098

【本資料に関する問い合わせ】

東京税関 調査部 調査統計課 TEL:03-3599-6385 (直通)

〒135-8615 東京都江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎 2階

※本資料を引用する際は、東京税関の資料による旨を注記して下さい。